



日本バウビオロジー研究会（BIJ）

第77回定例セミナー(オンライン)

非定常計算でみる防露設計の勘所～夏型結露への対応～

概要：

GX 志向型住宅や長期優良住宅など、高断熱化が進む中で室内外の温度差はますます大きくなり、結露リスクも高まっています。適切な防露設計を怠ると、躯体内の内部結露によって、せっかくの高性能住宅が短命になる恐れがあります。

結露には、冬と夏、表面と内部の組み合わせによって、冬期表面結露・冬期内部結露・夏期表面結露・夏期内部結露の4類型があります。本セミナーでは、これら4つの類型を踏まえ、防露設計の要点を整理します。従来の防露計算では冬期の内部結露対策が中心でしたが、近年は夏の蒸し暑さが一段と厳しくなり、夏型の内部結露対策も欠かせない視点となっています。特に夏期は、昼夜で温湿度が大きく変動するため、温湿度を一定値として扱う定常計算では判断が難しく、内外の温湿度変動を時間軸で扱う非定常計算が有効です。

本セミナーでは、世界的に広く利用されている非定常計算ツール WUFI (フ라운ホーファー建築物理研究所) を用いて、いくつかのケーススタディを検証し、夏型結露対策の勘所を身につけていただきます。

日 時：2026年3月13日（金） 18：00～20：00（開場 17:45）（セミナー90分、質疑30分）

プログラム

ごあいさつ／趣旨説明：石川 恒夫（BIJ 代表理事）

講 演：辻 充孝（建築設計・環境工学：岐阜県立森林文化アカデミー教授）

参加費：会員 無料 / 一般 2,000 円 / 学生 無料

申 込：3月10日（火）までに bureau@baubiologie.jp（事務局）にメールで参加希望をお知らせください。

※お申し込みいただきましたら、前日までに Zoom の URL を、直接（申込メール返信で）

お送りしますので、PCに Zoom のインストール（無料）をお願いいたします。

※参加費は事前振り込みです。お申し込みをいただきましたら、メールにてお振込先をお知らせいたします。ご入金確認が取れ次第、前日までに Zoom の URL をご案内いたします。

（講師：辻 充孝）

1973 年兵庫県生まれ。本研究会理事。

大阪芸術大学芸術学部建築学科卒業後、Ms 建築設計事務所を経て 2001 年より岐阜県立森林文化アカデミー。一級建築士。

バウビオロジー BIJ(第1期)。心地よさと環境性能の両立を目指して研究、設計を行っている。著書に『ぜんぶ絵でわかる7エコハウス』（エクスナレッジ）など。作品に「morinos」、「カミノハウス」、「道の駅美濃にわか茶屋」など。